

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公開番号】特開2011-136218(P2011-136218A)

【公開日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-028

【出願番号】特願2011-87091(P2011-87091)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

C 0 8 B 37/08 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 V

C 0 8 B 37/08 Z

A 6 1 L 31/00 T

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒアルロン酸と、ヒアルロン酸濃度を5～18質量%にする水、及びヒアルロン酸のカルボキシル基と等モル以上のヒアルロン酸より強い酸成分とを共存させ、該共存状態を-10～30の温度で、且つ水分が凍結しない温度に保持することによりヒアルロン酸ゲルを形成することを特徴とするヒアルロン酸ゲルの製造方法。

【請求項2】

ヒアルロン酸ゲルを形成し、次いで該ゲルを中和に用いる溶液で処理する請求項1に記載のヒアルロン酸ゲルの製造方法。

【請求項3】

前記酸成分が、0.45～1mol/リットルの強酸水溶液である、請求項1または2に記載のヒアルロン酸ゲルの製造方法。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の製造方法で得られたものであり、中性の2.5の水溶液中で1日での溶解率が50%以下であり、ヒアルロン酸の促進酸加水分解条件下でヒアルロン酸ゲルを処理することで可溶化されたヒアルロン酸が分岐構造を有し、該可溶化されたヒアルロン酸中に、分岐度が0.5以上の分子量フラクションを部分的に含むヒアルロン酸ゲルと、ゲル化されていないヒアルロン酸を含む医用材料。

【請求項5】

ヒアルロン酸ゲルが破碎状である請求項4に記載の医用材料。

【請求項6】

医用材料が関節症治療用注入剤である請求項4または5に記載の医用材料。

【請求項7】

医用材料が塞栓形成材である請求項4または5に記載の医用材料。

【請求項8】

医用材料が軟質組織注入剤である請求項4または5に記載の医用材料。

【請求項 9】

医用材料が代用硝子体である請求項4または5に記載の医用材料。